

出所者に密着！ ～断ち切れ！負のスパイラル！ 職も住居も確保せよ！！～

下山由歩・橋本知幸・小林美香・笛木由佳・伊橋聡

要 旨

私たちがこのテーマを選んだきっかけは、新聞記事で「いっそ刑務所のほうがましだ」という動機で再び犯罪に及ぶ人が増加を知ったことです。そこで、再犯者による犯罪の増加という問題に着目し、研究を行いました。

この問題の背景を調べると、2つの現状があることがわかりました。1つは、再犯に及ぶ現状として、犯罪件数の約6割が再犯者によるものであり、有職者に比べ無職者のほうが約5割も再犯率が高いことです。2つめは、出所者に対する支援の現状支援が不十分であるということです。

これらの現状を受け、私たちは、出所者に職業・住居・職業訓練の場を同時に提供することができれば、出所者の再犯防止につながるのではないかと考え、“**Support for Released Prisoner**” (S. R. P.) を提案しました。これは、働く意欲の高い初犯出所者を対象にした施設です。ここでは、住居は最高1年間可能であり、職業（服役中に行われていた刑務作業を活かした商品の製造）と職業訓練（無料パソコン講習）に取り組むことができます。また、S. R. P. によって、三者の立場にメリットをもたらします。そのメリットとは、①出所者：安心して社会復帰ができること。②消費者：商品の購入金額の一部を犯罪被害者団体に寄付することで、間接的に社会貢献できること③社会全体：出所者の再犯を防止により、安全・安心な社会を実現することができることです。

私たちは、出所者だからといって社会から排除せずに、S. R. P. のような支援で、きちんと社会復帰させることが、明るい社会づくりには必要だと思えます。